

事業名	動物愛護管理指導費			調書番号	45
細事業名	動物愛護推進員活動支援事業費	財務コード	088409		
担当部課室	福祉保健 部 衛生業務 課 食品衛生・動物愛護 担当 (内線)		3456		

## I 事業の概要

実施期間	始期 H15 年度 ~ 終期 年度						
実施主体	県(直営)						
目的	<table border="1"> <tr> <td>だれ(何)を対象に</td> <td>その対象をどのような状態にして</td> <td>結果、何に結びつけるのか</td> </tr> <tr> <td>動物愛護に熱意と識見を有する者</td> <td>動物愛護推進員に委嘱し、育成・支援することにより、地域におけるリーダー及び助言者として活動している。</td> <td>動物愛護の推進</td> </tr> </table>	だれ(何)を対象に	その対象をどのような状態にして	結果、何に結びつけるのか	動物愛護に熱意と識見を有する者	動物愛護推進員に委嘱し、育成・支援することにより、地域におけるリーダー及び助言者として活動している。	動物愛護の推進
だれ(何)を対象に	その対象をどのような状態にして	結果、何に結びつけるのか					
動物愛護に熱意と識見を有する者	動物愛護推進員に委嘱し、育成・支援することにより、地域におけるリーダー及び助言者として活動している。	動物愛護の推進					
内容	<p>①動物愛護推進員の委嘱:令和元年度(第9期) 委嘱数54人 任期は2年間</p> <p>②動物愛護推進員の育成・支援:研修会年1回開催 委嘱時には養成研修会を開催</p> <p>③動物愛護推進員は県が実施しているイベント等の協力や、地域における動物愛護の推進を図るため動物の適正飼養等の普及啓発など次の内容の事業を行っている。</p> <p>・動物愛護デーへの協力、犬猫の飼い方教室への協力、</p>						

## II 事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31(R1)年度	R2年度
活動指標	目標	1	2.0	1.0	2.0	1.0	2.0	1.0
	実績(見込)	1	2.0	1.0	2.0	1.0	2.0	
	達成率	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
	達成区分	b	b	b	b	b	b	
成果指標	目標							
	実績(見込)							
	達成率							
	達成区分							
決算(予算) 単位:千円		178	193	229	201	257	349	271

## III 事業の評価(平成30年度の業績評価)

活動指標	b	評価	推進員の知識技術の研鑽のための研修会を予定どおり実施できた。委嘱年度には養成講習会を実施している。動物愛護推進員は、一般県民から募集しており、それぞれの生活に加えて、推進員として活動を行っているため、研修会は都合で欠席となる場合もある。
成果指標	b		動物の適正飼養等の普及啓発につながっており、意図した成果を上げている。

・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。  
 ・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

## IV 見直しの必要性(令和2年度に向けた改善等の考え方)

県関与の必要性	判定	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い <input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> 必要性が低い
	説明	<input type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input checked="" type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input type="checkbox"/> その他 ( )
有効性(成果向上)	判定	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上が可能 <input type="checkbox"/> 成果向上はあまり望めない
	説明	地域における動物愛護の推進を図るうえで、有効な事業。
見直しの余地	判定	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある <input type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がない
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input type="checkbox"/> その他 ( )
その他	説明	動物愛護推進員から年度毎に活動報告の提出があり、それぞれ地域の動物愛護活動に積極的に対応しており、見直す必要はない。
見直しの必要性	無	動物愛護推進員から年度毎に活動報告の提出があり、それぞれ地域の動物愛護活動に積極的に対応しており、見直す必要はない。

## V 見直しの方向(令和2年度当初予算等での対応状況)

現行どおり	説明	
-------	----	--

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、IV見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。